



進路だより

令和4年3月4日発行
第3号

都立城東特別支援学校長
佐藤 亜紀子

<担当>進路支援部担当主幹 満村 辰也



今回は中学部・高等部への進学に向けて、また進路・キャリア教育に関する取組の様子をお伝えします。

<中学部・高等部への進学に向けて>

主幹教諭・満村 辰也

3学期は、中学部3年生にとって高等部進学へ向けて大きく動き出す時期となります。1月は願書提出、2月は入学相談、そして3月上旬には入学予定者発表、さらに入学手続きと続きます。入学相談を終えた生徒からは「面接はとても緊張しました」「(学力テストは)緊張したけど、うまくできました」「(高等部の)体育の授業がとても楽しみです」等の感想が聞けました。

また小学部6年生は、中学部進学へ向けた準備を進めています。12月には中学部の作業学習の授業を体験し、2月には入学説明会に参加しました。小学部としてのまとめの学習に取り組みながら、卒業式に向けた練習も本格的に取り組んでいます。

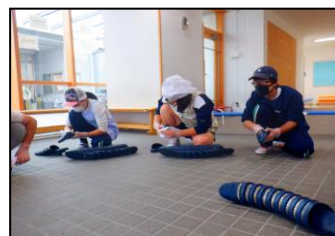
卒業を迎える児童・生徒にとっては、それぞれの新しい環境に対して期待もあれば不安もあることでしょう。今まで城東特別支援学校で学んできたことを力に変えて、勇気をもって新しい一歩を踏み出してくれることを願っています。卒業生の保護者の皆様にとっても、説明会への参加や様々な手続き等、慌ただしい日々が続くことかと思えます。進学に向けた取組について、御理解と御協力を何卒よろしくお願いいたします。

<校内就業体験・中学部1年、中学部2年> 中学部教諭・今中 千穂子

令和3年11月11日に2年生、12日に1年生が就業体験を行いました。就業体験を通して、社会生活にふさわしい挨拶やマナー、態度を学び、働くことへの意識を高めることがねらいでした。

身近な「仕事」として、日頃から校内をきれいにしてくださっている主事さんから清掃道具をお借りして、スリッパ拭きや手すり拭き、モップ掛けや掃除機掛け、テーブル拭きや椅子拭きなどの環境整備に取り組みました。両手で手すりを拭くときのコツやスリッパのしまい方、モップの向きなど、どの作業にも決まりやコツがあり、仕事に向かう姿勢や動作一つ一つが大切なることを学びました。

今回の体験が、作業所での就業体験や高等部進学後の現場実習に生かすことができる契機となればと思います。



<中学部授業体験・小学部6年>

小学部教諭・松井 まなみ

令和3年12月15日に「中学部の授業を体験する機会を通して、中学部の授業や活動場所の雰囲気を感じ、関心をもてるようにする」というねらいのもと、小学部6年生が中学部の作業学習(陶芸班)を体験しました。

感染症が落ち着いていた時期だったため、中学部の生徒と同じ教室で粘土伸ばしや粘土たたき、型抜き等の活動を行うことができました。

6年生は生活単元学習で中学部について事前に学んでいたこともあり、今回の体験で中学部へ進学することへの期待がますます膨らんできたようでした。

